

(2) 環境教育支援活動

学校教育や市民活動における環境教育支援の一環として、女子畑発電所ダム周辺にある「女子畑いこいの森」(大分県日田市)や、「山下池周辺の社有林」(大分県由布市)において、当社が持つ豊かな自然環境を活用した環境教育支援活動を市民団体の皆さまと協力しながら展開しています。

「女子畑いこいの森」においては、2002年度から女子畑発電所ダム周辺の植樹地及び自然を活用して、「自然観察会」、「木工教室」、「エネルギー教室(水力発電所や地熱発電所の見学)」など体験型の環境教育支援活動を実施しています。また、2006年度からは「山下池周辺の社有林」における自然観察会を追加し、内容を充実しています。

2002年度からこれまで、およそ100団体、3,500名以上を受け入れました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 環境教育支援活動



山下池周辺の社有林での自然観察会の様子



用語集をご覧ください

- ステークホルダー
- 社有林

(3) 出前授業

エネルギー・環境問題などについて、楽しみながら学んでもらう事を目的に、九州各地で出前授業を実施しています。2012年度は、小・中学校等で349

回の出前授業を実施し、13,478名の子どもたちとエネルギーや環境について考えました。

出前授業担当者の声

未来を担う子どもたちに「電気の大切さ」を伝えていきます

長崎お客さまセンター
佐世保営業所 計画グループ
まつした あすか
松下 明日香



出前授業の講師となりもうすぐ2年が経ちます。初めての授業の前は「楽しんでもらえるだろうか?」「興味を持ってもらえるだろうか?」という緊張や不安から、大好きな食べ物も喉を通りませんでした。

しかし、いざ授業を始めると、目をキラキラと輝かせながら実験道具を手にとる子どもたちの笑顔が教室いっぱい溢れていました。子どもたちは授業を通して、電気が生活に欠かせないことや発電にはたくさんのエネルギーが必要なことを自然と感じ取ってくれるのだとわかりました。

子どもたちから「寝る前にはブレーカーを切る!」という宣言が飛び出すなど、一人ひとりが省エネについて真剣に考えてくれることが、何よりの喜びです。

これからも、子どもたちと一緒に楽しみながら、しっかりと電気の大切さを伝えていきます。



出前授業風景